

	課題分析	授業改善策
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・5以上の減法の定着が弱く、ケアレスミスが目立つ。 ・長さの学習では、問題を読んで問われていることが理解できず、任意単位による比較の正答率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計算問題では、授業の始めにフラッシュカードを使って、素早く正確に答えを求められるようにする。 ・具体物を活用して視覚で理解できるようにしたり、考え方を説明したりする活動を取り入れたりする。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本は9割以上の児童で定着が見られる。 ・量感が乏しく、長さ、かさ等の測量の内容理解に苦手意識を示す児童が多い。 ・時刻、時間に関する理解が不十分である。 ・文章読解力、図の理解に課題が見られるため、文章問題等で課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の開始時に10の合成分解や九九の暗唱を繰り返し行い、基礎計算の素地を養う。 ・日常的に、長さや大きさについて問いを投げかけ、長さ、かさについての量感を養う。 ・日頃から、時刻や時間を意識した行動を促し、時間感覚を養う。 ・文章問題では、数値や間に線を引かせることで、重要な要素への焦点化を図る。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・「数と計算」領域の正答率は約9割と高く、計算の基礎基本は定着していると考える。しかし、空位のあるひき算の理解は不十分である。 ・「データの活用」領域の理解が不十分である。 ・「測定」領域の単位換算の理解が不十分である。量感が乏しい。 ・時刻や時間に関する理解が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・週に1回、朝学習の時間に正答率の低かった問題に絞って数問ずつ計算する時間を設定する。 ・日常的に、社会などの他教科でも資料や表・グラフの読み取りの機会を増やす。 ・実物を使った長さの測定やかさの測定の機会を増やし、感覚を養う。 ・日常的に時計を見る活動を習慣化させ、時間感覚を育てる。
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の東京ベーシックドリル結果から、「図形」領域においては、作図の問題に対する正答率が低い。円を作図し、半径を利用して正三角形を作図する問題は、これまでの知識を応用する必要があった。 ・「数と計算」領域においては、整数のひき算・整数のかけ算の正答率が低かった。「4桁－4桁」の減法と「3桁×2桁」の乗法は、筆算の立式までは概ねできているが、計算ミスが多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主にドリルパーク DAY を活用し、各自が苦手な問題を解く時間を取り、個別最適化された学習を行う機会をつくる。 ・単元「垂直、平行と四角形」では、台形、平行四辺形、ひし形の作図を行う。その単元の終わりの時間に作図問題を行い、基礎的な作図のやり方やコンパスの使い方を毎時間確認する。 ・単元「計算のきまり」や「小数のかけ算とわり算」において、筆算のやり方を視覚化し、苦手な児童は見ながら行うことで定着を図る。また単元「がい数の表し方と使い方」では、和、差、積、商を見積もることを定着させ、明らかな計算ミスそのままにしないように指導を行う。
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・数と計算領域においては、特に小数のわり算の正答率が低い。 ・図形の領域においては、面積の問題の正答率が低い。特に複雑な形をした面積を求める問題の正答率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の事態に応じた整数のわり算の筆算のプリントに授業の冒頭に5分取り組ませる。 ・面積の公式を定着させるために、フラッシュカードを活用する。複雑な形は図形を色分けして示し、求めたい部分がどの図形をもとにした計算なのか理解できるようにする。
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・整数の性質の領域において、特に「公倍数・公約数」の正答率が低かった。 ・単位量当たりの大きさの領域において、人口密度の無答が非常に多く、正答率も低かった。 ・以上のことから、わり算のアルゴリズムの未定着、文章問題の読解力が低い傾向にあると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず1授業の中で、授業終わりの5分程度を利用し、適応問題に取り組むことを習慣化し、学力の確実な定着を図る。 ・文章問題に触れる機会を増やし、文章問題から図式化し、立式までする訓練を行う。 ・自学ノートを活用し、文章問題に触れる機会を増やす。